

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

三重県

自治体名： 三重県

担当課名： 教育委員会事務局保健体育課

電話番号： 059-224-2973

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	5,774 km ²
人口	1,711,370 人
公立中学校数	150 校 (義務教育学校・分校含む)
公立中学校生徒数	43,614人
部活動数	1,511部活
都道府県の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
都道府県の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み

地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

三重県では、少子化の進行による生徒数の減少や指導者不足のため、学校部活動を従前と同様の体制で運営することが難しくなっており、ご学校や地域によっては存続が厳しい状況にあるが、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により、生徒の活動の場を整備する必要がある。

三重県では、各市町によって、中学校の数や、生徒数、部活動の種類、受入団体、指導者や

活動場所、移動手段の状況等が異なり、直面している課題もさまざまであることから、画一的に推進していくことは困難な状況にある。このため、各市町の状況を把握し、好事例の共有等を図るとともに、地域の実状に応じた取組を進める必要がある。まずは、部活動に外部指導者を活用するなどの地域連携から始めたり、可能な部活動から総合型地域スポーツクラブ等に地域移行したりするなど、中学校における休日の部活動の

段階的な地域連携・地域移行を進めている。



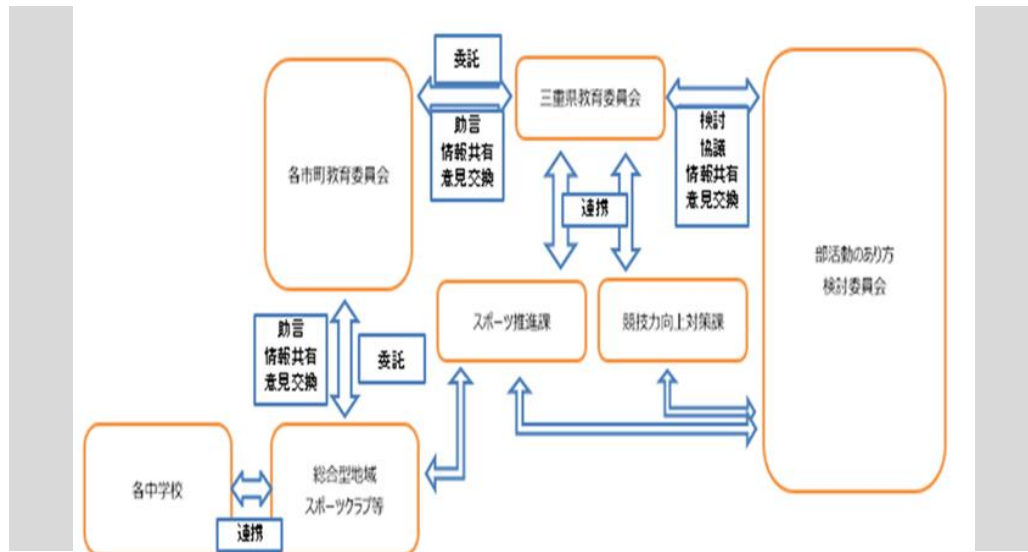
平成30年との比較 : 令和 7年では 1, 4 9 6 人 (3 7 学級分) の減少
: 令和13年では 3, 2 2 1 人 (8 1 学級分) の減少
: 令和19年では 6, 1 9 8 人 (1 5 5 学級分) の減少

※1学級40人で換算 三重県ホームページより

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（都道府県における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（保健体育課）

主に、市町等教育委員会との連絡・調整、指導助言を担っている。また「部活動のあり方検討委員会」を開催し、有識者の意見をまとめ、地域のニーズを把握し、新たなスポーツ・文化芸術活動のあり方を検討している。

◎首長部局（スポーツ推進課）

主に、県スポーツ協会と連携し、市町のスポーツ課・市町のスポーツ協会と連携している。総合型地域スポーツクラブのニーズを把握し、新たなスポーツ・文化芸術活動のあり方を検討している。

年間の事業スケジュール

- 令和6年 5月 第1回部活動のあり方意見交換会（オンライン開催）
- 6月 第1回部活動のあり方作業部会
- 7月 第1回部活動のあり方検討委員会
- 9月 第2回部活動のあり方意見交換会（参集にて開催）
- 11月 第2回部活動のあり方作業部会
- 12月 第2回部活動のあり方検討委員会
- 令和7年 2月 第3回部活動のあり方意見交換会（オンライン開催）
人材バンク運用開始
- 3月 第3回部活動のあり方検討委員会

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

広域的な活動を行う部活動改革コーディネーターを配置し、関係団体・市町等の連絡・調整・指導助言を行った。

取組の成果

部活動改革コーディネーターが各市町に訪問やオンライン相談を行い、部活動の地域移行における協議会での協議の状況、課題解決に向けた対応策、現在の地域移行の進捗状況や今後の取組予定などを聞き取るとともに、必要に応じて、指導助言を行いました。また、他市町の好事例や対応策に対する指導助言を行うなど丁寧に情報を共有することができた。さらに、県内地域移行の受け入れ先となっている、総合型地域スポーツクラブの活動の様子を視察した。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・7月 あのうスポーツクラブ主催 津市安濃・芸能・美里地域中学校合同部活動の視察
- ・7月 総合型地域スポーツクラブ「楠スポーツクラブ」事務局の訪問
- ・9月 総合型地域スポーツクラブ「元気アップこものスポーツクラブ」活動の視察
- ・11月 日本スポーツ協会東海ブロッククラブネットワークアクションへの参加
- ・12月 皇學館大学と伊勢市内中学校陸上競技部合同練習会の視察
- ・12月 三重県スポーツ協会主催 部活動の地域移行に向けた研修会への参加
- ・2月 皇學館大学と伊勢市内中学校陸上競技部合同練習会の視察
- ・2月 桑名市教育委員会主催「一般社団法人アスリートキャリアセンター」指導者研修会への参加
- ・2月 総合型地域スポーツクラブ「クラブ志摩」活動の視察
- ・2月 総合型地域スポーツクラブ「さんさん」活動の視察

・この他にも、県内29市町教育委員会に訪問及びオンラインで面談を行い、課題解決に向けた対応策や、現在の地域移行の進捗状況や今後の取組予定の確認、他市町の好事例の共有など、情報共有を行った。

今後の課題と対応方針

今後も、県内29市町の教育委員会や受け入れ団体を訪問し、各市町の実情に応じた取組を進めていくための連絡調整・指導助言を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

部活動の地域移行を進めるにあたり、指導者の確保が各市町の大きな課題となっているが、こうした課題の解決に少しでもつなげられるよう、指導者を必要とする市町と地域クラブ等での指導を希望する方をWebサイト上でマッチングする、「みえ地域クラブ活動人材バンク」を開設した。

人材バンクの登録人数

92名（3月14日現在）

人材バンクの年齢構成

10代	5名
20代	15名
30代	14名
40代	23名
50代	16名
60代以上	19名

登録者属性

自営業、個人事業者、会社員をはじめ、公務員、兼職兼業で指導を希望する教員や大学生などが登録されている。

種目

チームスポーツ、個人スポーツともに多くの種目において、指導希望者が集まっている。また、学校部活動にはないような、種目の指導ができる指導者の登録もある。

資格有無

登録の際、資格の有無については、指定しておらず、マッチングを行う市町や地域クラブ等において資格の有無を確認することとなっている。

取組の成果

「みえ地域クラブ活動人材バンク」は、開設、運用開始からの日数がまだ浅いため、マッチングから指導へ至ったケースは、まだない。しかし、本システムは市町と共有するシステムであり、同じシステムを利用している近隣県とのリンクも可能であるため、広域的な人材確保につなげていくことができる。今後は、人材バンクの周知を図り、登録者及び募集する地域クラブ等を増やしていくことで、指導者不足や地域クラブ等の確保という課題の解決につなげていきたいと考える。そのことが、将来にわたり、子どもたちが希望するスポーツ・文化芸術活動に取り組む場の確保につながっていくと期待する。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

令和6年9月20日（金）
部活動のあり方意見交換会

【内容】

- 県教育委員会から現状説明
 - ・運動部について
 - ・文化部について

○部活動地域移行について取組報告【菰野町】

- 意見交換会〔グループ分け①〕
- 意見交換会〔グループ分け②〕

これまで感染症対策及び移動時間短縮のためオンラインにて情報共有を行うことが多かった意見交換会を参集で行った。

県内から43名の参加者が参集し、先進地の事例から学ぶとともに、それぞれの市町が抱える課題について意見交換を行った。

グループワークでは、近隣市町との交流や、同規模自治体との交流を行い、情報交換を行った。

また会議後も担当者が会場に残り、意見交換する姿が見られ、市町担当者同士の横のつながりも生まれた有意義な機会となった。

取組の成果

【参加者からの感想（抜粋）】

- ・近隣市町で意見交換できたのがよかった。
- ・対面で多くの市町の方とお話させていただき、濃密な情報共有もできたため、今回この形で開催していただき大変有意義な場となった。
- ・今回の菰野町のように実際に地域移行が進んでいる取組報告を聞くことは有意義である。
- ・参集は移動に時間がかかるが、得る情報は多いので時々開催するのは良いと思った。
- ・なかなか進まない悩みは他の市町も同じところが多く、気持ちが楽になった。
- ・表の話と、表に見えない話があるので、今回の対面には意義があると感じた（伝達ベースの会議はオンラインがありがたい）。
- ・用紙や付箋等工夫をしていただき、話が進むきっかけとなった。グループでの情報共有をもっと長い時間したかった。
- ・本町と同規模の自治体と話が出来て、同じ内容の課題にぶつかっていることもわかった。
- ・話し合ってみて、目指している地域移行の形が、似ている地域ごとのグループにしてもらうのも課題等が共通していて良いように感じた。
- ・情報交換の機会として有意義だった。菰野町のような事例紹介もありがたい。
- ・参集で開催していただけたら、情報共有がよりしやすくなりありがたかった。なかなか市としても進まない状況だが、できることを地道にコツコツと積み重ねていきたいと思う。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本事業においては、県内7市町において、総合型地域スポーツクラブや、市町教育委員会が実施主体となり、地域クラブ活動を行った。総合型地域スポーツクラブにおける活動と、市町が主体となって行った拠点型活動、競技団体が主体となって行う活動と、様々なパターンでの活動であった。

県の取組としては、昨年度に引き続き、部活動改革コーディネーターによる、29市町及び各地の総合型地域スポーツクラブとの連携など、広域的に活動をし、県内の取組状況の把握や、好事例の共有などを行った。また、県内各市町共通の課題である、指導者確保のための、「みえ地域クラブ活動人材バンク」の構築、運用を開始した。

●成果の評価

様々なパターンで活動を行うことで、今後の各市町における地域クラブ活動に向けて、参考となる事例や、課題が見えてきたことが良い点であったと思う。県においては、昨年度に引き続いて行った部活動改革コーディネーターの任用はもちろんだが、指導者確保のための人材バンクの運用を開始したことが、県内各市町における部活動地域移行の大きな一歩となった。

●今後に向けて

県においても、国の方向性にもあるように、地域クラブ活動の認定要件などについて、検討を進めていく必要がある。また、地域の実情に応じたゴールイメージを提案することもある必要である。各市町共通の課題としては、受益者負担や市町単費の確保など、今後、地域クラブ活動を自走させていくための、収支構造の構築が挙げられている。さらに、今年度検討することができなかった困窮世帯への支援の方法などについても、各市町と連携し、検討していく必要があると考える。また、各市町においては、指導者だけではなく、コーディネーター的な役割を担う人材の確保についての声も聞かれるが、人材バンクを活用していくことで、この課題解決につなげていければと考える。今後、県内各市町において、様々な形で部活動の地域移行が進められていくと考えますが、県としてはスポーツ分野だけでなく文化芸術分野とも連携し、足並みを揃えて取組を進めていくこと、関係部局、関係機関・関係団体との連携を深め、同じ方向性で地域移行を進めていくことの必要性があると考えている。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ^o

令和5年度～7年度改革推進期間における休日の部活動の地域連携・地域移行イメージ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
国	○改革推進期間			
	国実証事業			
	国庫補助事業等（財源確保）			
県	中学校の休日の部活動の地域移行に向けたあり方検討委員会（協議会）の開催			推挙管理
	部活動ガイドラインおよび新たな地域クラブ活動方針の作成			
	指導者の資質向上等に係る研修会の実施			人材育成
	各市町担当者との意見交換会の実施			
	部活動の地域連携・地域移行に向けた環境整備をサポートするための相談窓口の設置			先進事例情報提供・市町への助言等
	地域文化クラブ活動体制整備事業による市町の支援			
	兼職兼業の整備・実施			
市町・学校	協議会の設置			○協議会の定期開催 ・地域連携・地域移行の推進 ・地域連携・地域移行の進捗管理 ※地域連携・地域移行の推進については別紙イメージ図参照
	管内実態の把握、方針等の作成			
	部活動の地域移行に係る周知（教職員、保護者・生徒及び地域）			
	関係団体等の協力のもと、部活動地域移行に向けての体制整備			
	休日の部活動の段階的な地域連携・地域移行を開始			
	兼職兼業の整備・実施			

※市町・学校・部活動によって、実施主体等が混在する見込み

自治体の課題、現状

三重県では、各市町によって、中学校の数や生徒数、部活動の種類、受入団体、指導者や活動場所、移動手段の状況等が異なり、直面している課題もさまざまであることから、画一的に推進していくことは困難な状況にある。このため、各市町の状況を把握し、好事例の共有等を図るとともに、地域の実状に応じた取組を進める必要がある。まずは、部活動に外部指導者を活用するなどの地域連携から始めたり、可能な部活動から総合型地域スポーツクラブ等に地域移行したりするなど、中学校における休日の部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めている。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	150校
全生徒数	43,614人
域内の運動部活動数	1,511部活
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ 各競技団体 市町教育委員会事務局

地域移行関連の取組、成果

- ・部活動改革コーディネーターが各市町に訪問やオンライン相談を行い、部活動の地域移行における協議会での協議の状況、課題解決に向けた対応策、現在の地域移行の進捗状況や今後の取組予定などを聞き取るとともに、必要に応じて、指導助言した。
- ・今後の三重県における部活動のあり方を検討する「三重県部活動のあり方検討委員会」を開催した。
- ・各市町共通の課題である、指導者不足を解消するため、人材バンクを構築し、運用を開始した。

運営体制図

